

2018.2.8

## 台湾・洋上風力プロジェクト、10案件が環境影響評価の最終審査へ

台湾の環境保護署は2018年2月9日に、同国の西岸沖における洋上風力発電所新設プロジェクト4件について、環境影響評価(EIA)の最終審査を行う。対象となるのは「福海示範」「中能」「雲林」「大彰化東北」「大彰化東南」「大彰化西北」「大彰化西南」「海鼎一」「海鼎二」「海鼎三」の10案件。これにより、台湾の洋上風力プロジェクトがほぼすべてEIAの最終段階に向かうことになる。

環境保護署は2017年中に「麗威(桃園)」「海龍二號」「海龍三號」「彰芳」「福芳」「西島」「海峡(27號)」「海峡(28號)」の審査を完了しており、これら計画をすべて承認。2018年1月中にも「竹風」「海能」「台電(第二期)」「築能(桃園)」の審査を実施しており、このうち「台電(第二期)」については承認、「築能(桃園)」については却下の判断を下した。

現在計画されている案件は表の通りとなるが、多数の案件がEIAを通過したとしても、これら案件すべてに事業化が保証されているわけではない。EIAを通過した案件の事業者らは、まず台湾政府から系統接続容量を取得し、政府側と系統接続契約を交わす必要がある。次段階として事業会社設立許可、外国人投資許可(FIA)などの諸手続を終え、さらに長期売電契約(PPA)締結、着工許可取得などを完了しなければならない。

カギとなるのはこの系統接続容量だが、台湾の経済部能源局は2018年1月15日に、配分する量と方法を明らかにしており、合計で5,500MW分の容量を付与する方針を示している。2020年までに商業運転開始(COD)が見込まれるファスト・トラック案件を対象に500MW分を割り当てる。この次に技術力や資金力などの基準をもとに、2021年から2025年までのCODが見込まれる案件に3,000MW分の容量を配分する。残る2,000MW分については、オークションを実施して、低い売電価格を提示した案件に付与する。

台湾政府は接続系統容量の配分メカニズムについて「国内産業の育成を着実に秩序立った方法で進めるため」としている。台湾は洋上風力発電を国内産業として育成し、将来的には自国以外のアジア地域で展開することも視野に入れていることから、この容量配分メカニズムにより、将来的に実現を目指す案件の競争力強化を図る狙いがうかがえる。

## ■台湾の洋上風力発電所新設案件

(デモ発電所案件)

サイト	案件名	容量	事業者	EIA承認	備考(EIAの状況など)
苗栗県沖	海洋示範	128MW	・上緯企業(台湾) ・エルステッド(デンマーク) ・マッコーリー(蒙州)	◎	[2013/12]承認(フェーズ2:120MW) [2017/05]デモ機(フェーズ1:8MW) 商業運転開始
彰化県沖	福海示範	120MW	・永伝能源(台湾)	◎	[2013/3]承認(フェーズ1:8MW) [2018/2/9]最終審査予定(フェーズ2:112MW)
彰化県沖	台電示範	110MW	・台湾電力	◎	[2015/7]承認

(クラスター開発案件)

サイト	案件名	容量	事業者	EIA承認	備考(EIAの状況など)	
新北市沖	艾貴風能壆	350MW	・エクイス・エナジー(シンガポール)		[2017/12/26]2次審査終了	
桃園市沖	麗威(桃園)	363MW	・w p d(ドイツ)	◎	[2017/10/18]承認	
	築能(桃園)	160MW		×	[2018/1/31]却下	
	台海第一(W1N)	190MW	・EOLFI(フランス) ・ゴブラ(スペイン)		※浮体式設備を検討 [2017/12/28]2次審査終了	
新竹市沖	竹風	450MW	・亜洲水泥(台湾)		[2018/1/31]最終審査済み	
苗栗県沖	海能	523MW	・上緯企業(台湾)		[2018/1/31]最終審査済み	
彰化県沖	海鼎一	552MW	・上緯企業(台湾) ・マッコーリー(蒙州)		[2018/2/9]最終審査予定	
	海鼎二	732MW			[2018/2/9]最終審査予定	
	海鼎三	720MW			[2018/2/9]最終審査予定	
	大彰化西北	598MW	・エルステッド(デンマーク)		[2018/2/9]最終審査予定	
	大彰化東北	570MW			[2018/2/9]最終審査予定	
	大彰化西南	642.5MW			[2018/2/9]最終審査予定	
	大彰化東南	613MW			[2018/2/9]最終審査予定	
		海龍三號	512MW	・ノースランド・パワー(カナダ)	◎	[2017/12/27]承認
		海龍二號	532MW	・ユーシャンエナジー(シンガポール)	◎	[2017/12/27]承認
		台電(第二期)	720MW	・台湾電力(台湾)	◎	[2018/1/31]承認
		彰芳	600MW	・永伝能源(台湾)	◎	[2017/12/13]承認
		福芳	600MW	・C I P(デンマーク)	◎	[2017/12/13]承認
		西島	410MW		◎	[2017/12/13]承認
		海峡(27號)	600MW	・力麗集団(台湾)	◎	[2017/12/13]承認
	海峡(28號)	600MW	・台湾汽電(台湾)	◎	[2017/12/13]承認	
	中能	600MW	・中国鋼鉄(台湾) ※DGA(香港)、C I P(デンマーク)が 参画検討		[2018/2/9]最終審査予定	
雲林県沖	允能(雲林)	750MW	・w p d(ドイツ)		[2018/2/9]最終審査予定	

(注1)“C I P”=コペンハーゲン・インフラストラクチャー・パートナーズ、“DGA”=ダイヤモンド・ジェネレーティング・アジア(三菱商事の子会社)

[戻る](#)

※掲載記事の無断転載を禁止します。

著作権は(株)重化学工業通信社に帰属します。

Copyright (C) The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved